

薬効・薬価リスト平成23年版 追補
(平成23年7月19日告示分)

内 用 薬

グルベス配合錠 (キッセイ)	1錠	59.80
	3969102F1020 / 622053601	

3969J 速効型インスリン分泌促進薬 / 食後過血糖改善薬
配合剤

適応 2型糖尿病(ミチグリニドカルシウム水和物及びボグリボースの併用による治療が適切と判断される場合に限る。
注)本剤は2型糖尿病治療の第一選択薬としての使用不可。

用法 1回1錠,1日3回食直前経口投与。

禁忌 重症ケトosis,糖尿病性昏睡・前昏睡,1型糖尿病 重症感染症,手術前後,重篤な外傷 本剤(成分)に過敏症の既往歴 妊婦・妊娠している可能性の婦人
(掲示事項等告示) 当品目は新医薬品の処方日数制限対象外。

トラムセット配合錠 (ヤンセン)	1錠 劇	68.20
	1149117F1020 / 622081101	

1149T 慢性疼痛 / 抜歯後疼痛治療剤

適応 非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次の疾患における鎮痛 / 非がん性慢性疼痛,抜歯後の疼痛。

用法 非がん性慢性疼痛 1回1錠,1日4回経口投与。症状により適宜増減。抜歯後の疼痛 1回2錠,経口投与。以上,投与間隔は4時間以上あける。1回2錠,1日8錠まで。空腹時の投与は避けることが望ましい。

禁忌 アルコール,睡眠剤,鎮痛剤,オピオイド鎮痛剤または向精神薬による急性中毒 モノアミン酸化酵素阻害剤を投与中,投与中止後14日間以内 治療により十分な管理がされていないてんかん 消化性潰瘍 重篤な血液の異常のある者 重篤な肝障害 重篤な腎障害 重篤な心機能不全 アスピリン喘息・その既往歴 本剤(成分)に過敏症の既往歴 **併禁** モノアミン酸化酵素阻害剤(セレギリン塩酸塩 エフビー)

(薬価基準収載日:平23.7.19,投与:14日まで)

ミラベックスLA錠0.375mg (日本ベーリンガー)	0.375mg1錠 劇	151.20
	1169012G1028 / 622069601	
" LA錠1.5mg	1.5mg1錠 劇	518.90
	1169012G2024 / 622069701	

1169i ドパミン作動性パーキンソン病治療徐放性製剤 塩酸プラミベキソール

適応 パーキンソン病。

用法 1日1回0.375mg,食後経口投与から開始。2週目に1日0.75mgとし,以後経過を観察しながら1週間ごとに1日0.75mgずつ増量,維持量(標準1日1回1.5~4.5mg,食後経口投与)を定める。年齢・症状により適宜増減。1日4.5mgまで。

注)腎機能障害患者(クレアチンクリアランス30~50mL/分):治療開始1週間は0.375mgを隔日投与。増量が必要な場合は1週間ごとに0.375mgずつ増量。1日最大2.25mg。

禁忌 妊婦・妊娠している可能性の婦人 透析患者を含む高度な腎機能障害(クレアチンクリアランス30mL/min未満) 本剤(成分)に過敏症の既往歴

(薬価基準収載日:平23.7.19,投与:14日まで)

リクシアナ錠15mg (第一三共)	15mg1錠	397.40
	3339002F1020 / 622080901	
" 錠30mg	30mg1錠	727.30
	3339002F2026 / 622081001	

3339i 経口FXa阻害剤 トシル酸エドキサバン

適応 次の下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制 / 膝関節全置換術,股関節全置換術,股関節骨折手術。

用法 1日1回30mg,経口投与。

注)原則として術後の入院中に限り使用。初回投与は手術後12時間を経過し,手術創等からの出血がないことを確認してから行う。初回投与は硬膜外カテーテル抜去又は腰椎穿刺から少なくとも2時間を経過してから行う。また,初回以降これらの処置を行う場合,前回投与から12時間以上の十分な時間をあけ,予定している次回投与の2時間以上前に実施。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 出血している者(頭蓋内出血,後腹膜出血または他の重要器官における出血等) 高度の腎機能障害(クレアチンクリアランス30mL/min未満) 急性細菌性心内膜炎

(薬価基準収載日:平23.7.19,投与:14日まで)

リパクレオン顆粒300mg分包 (アボット=エーザイ)	300mg1包	59.00
	2331007D1029 / 622085301	
" カプセル150mg	150mg1カプセル	31.60
	2331007M1029 / 622085401	

2331 膵消化酵素補充剤 パンクレリパーゼ

適応 膵外分泌機能不全における膵消化酵素の補充。[承認時資料による]

用法 1回600mg,1日3回食直後経口投与。状態により適宜増減。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 プタ蛋白質に過敏症の既往歴

(薬価基準収載日:平23.7.19,投与:14日まで)

レクサブロ錠10mg (持田)	10mg1錠 劇	212.00
	1179054F1022 / 622069502	

1179i 選択的セロトニン再取り込み阻害剤 シュウ酸エスシタロプラム

適応 うつ病,うつ状態。

用法 1日1回10mg,夕食後経口投与。年齢・症状により適宜増減。増量は1週間以上の間隔をあけ,1日最高量20mgまで。

注)肝機能障害患者,高齢者,遺伝的にCYP2C19の活性が欠損していることが判明している患者:10mgを上限とすることが望ましい。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 モノアミン酸化酵素阻害剤を投与中,投与中止後14日間以内 ピモジドを投与中 **併禁** モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤(セレギリン塩酸塩 エフビー) ピモジド オーラップ

(薬価基準収載日:平23.7.19,投与:14日まで)

(次頁に続く)

薬効・薬価リスト平成23年版 追補
(平成23年7月19日告示分)

外用薬

イクセロンパッチ 4.5mg (ノバルティス)	4.5mg1枚	劇	337.20
"	パッチ 9mg	9mg1枚	劇 379.70
"	パッチ 13.5mg	13.5mg1枚	劇 407.00
"	パッチ 18mg	18mg1枚	劇 427.50

1190 アルツハイマー型認知症治療剤 リバステグミン

適応 軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制。

用法 1日1回4.5mgから開始。原則として4週ごとに4.5mgずつ増量し、維持量1日1回18mg、貼付。背部、上腕部、胸部のいずれかの正常で健康な皮膚に貼付し、24時間ごとに貼り替える。

注) 18mg/日未満投与は有効用量ではなく、漸増又は一時的な減量の目的なので、維持量である18mgまで増量する。

禁忌 本剤(成分)・カルバメート系誘導体に過敏症の既往歴

保険料 1日につき1枚を使用した場合に限り算定可(平23.7.19保医発0719第5号)

(薬価基準収載日:平23.7.19,投与:14日まで)

スープレックス吸入麻酔液 (バクスター)	1mL	劇	43.70
----------------------	-----	---	-------

1119i 全身吸入麻酔剤 デスフルラン

適応 全身麻酔の維持。

用法 3.0%の濃度で開始、適切な麻酔深度が得られるよう全身状態を観察しながら濃度調節。通常、濃度7.6%以下。

禁忌 本剤(成分)・他のハロゲン化麻酔剤に過敏症の既往歴 悪性高熱の既往歴・血族に悪性高熱の既往歴

(薬価基準収載日:平23.7.19,投与:14日まで)

ノルスパンテープ 5mg (ムンディファーマ)	5mg1枚	劇向	1,529.10
"	テープ 10mg	10mg1枚	劇向 2,356.40
"	テープ 20mg	20mg1枚	劇向 3,631.30

1149i 経皮吸収型持続性疼痛治療剤 プレネラルフィン

適応 非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次の疾患に伴う慢性疼痛における鎮痛/変形性関節症、腰痛症。[承認時資料による]

用法 前胸部、上背部、上腕外部又は側胸部に貼付。7日ごとに貼り替えて使用。初回貼付用量5mg、その後は症状により適宜増減。20mgまで。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 重篤な呼吸抑制状態および呼吸機能障害

(薬価基準収載日:平23.7.19,投与:14日まで)

リバスタッチパッチ 4.5mg (小野)	4.5mg1枚	劇	337.20
"	パッチ 9mg	9mg1枚	劇 379.70
"	パッチ 13.5mg	13.5mg1枚	劇 407.00
"	パッチ 18mg	18mg1枚	劇 427.50

1190 アルツハイマー型認知症治療剤 リバステグミン

適応 軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制。

用法 1日1回4.5mgから開始。原則として4週ごとに4.5mgずつ増量し、維持量1日1回18mg、貼付。背部、上腕部、胸部のいずれかの正常で健康な皮膚に貼付し、24時間ごとに貼り替える。

注) 18mg/日未満投与は有効用量ではなく、漸増又は一時的な減量の目的なので、維持量である18mgまで増量する。

禁忌 本剤(成分)・カルバメート系誘導体に過敏症の既往歴

保険料 1日につき1枚を使用した場合に限り算定可(平23.7.19保医発0719第5号)

(薬価基準収載日:平23.7.19,投与:14日まで)

注射薬

ハラヴェン静注 1mg (エーザイ)	1mg2mL1瓶	毒	64,070
-----------------------	----------	---	--------

4291 抗悪性腫瘍剤 メシル酸エリブリン

適応 手術不能又は再発乳癌。

注) アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤及びタキサン系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法を増悪もしくは再発例を対象。

用法 1日1回1.4mg/m²、2~5分かけて静注。週1回投与を2週連続し、3週目は休薬。これを1サイクルとして繰り返す。状態により適宜減量。

注) 投与時に希釈する場合は生理食塩液を使用。

禁忌 高度な骨髄抑制 本剤(成分)に過敏症の既往歴 妊婦・妊娠している可能性の婦人

ポプスカイン0.5%注	50mg10mL1管	劇	509
"	50mg/10mL (丸石)	1214407A4023 / 622086401	
"	0.5%注	50mg10mL1筒	劇 609
"	シリンジ 50mg/10mL	1214407G4026 / 622086301	

1214 長時間作用性局所麻酔剤 塩酸レボピバカイン

適応 伝達麻酔。[承認時資料による]

用法 1回150mg(30mL)まで、目標の神経又は神経叢近傍に投与。複数の神経ブロックを必要とする場合でも総量150mgまで。期待する痛覚遮断域・手術部位・年齢・身長・体重・全身状態等により適宜減量。

禁忌 本剤(成分)・アミド型局所麻酔剤に過敏症の既往歴

(次頁に続く)

薬効・薬価リスト平成 23 年版 追補
(平成 23 年 7 月 19 日告示分)

ミルセラ注シリンジ	25 µg0.3mL1 筒 劇	6,969
25 µg (中外)	3999432G1020 / 622068801	
" 注シリンジ	50 µg0.3mL1 筒 劇	12,507
50 µg	3999432G2026 / 622068901	
" 注シリンジ	75 µg0.3mL1 筒 劇	17,608
75 µg	3999432G3022 / 622069001	
" 注シリンジ	100 µg0.3mL1 筒 劇	22,445
100 µg	3999432G4029 / 622069101	
" 注シリンジ	150 µg0.3mL1 筒 劇	31,600
150 µg	3999432G5025 / 622069201	
" 注シリンジ	200 µg0.3mL1 筒 劇	40,281
200 µg	3999432G6021 / 622069301	
" 注シリンジ	250 µg0.3mL1 筒 劇	48,625
250 µg	3999432G7028 / 622069401	

3999i 持続型赤血球造血刺激因子製剤 エポエチン ベータベゴル

適応 腎性貧血。

用法 〔血液透析患者〕初回 1 回 50 µg,2 週に 1 回,静注。エリスロポエチン製剤からの切替え初回 1 回 100 又は 150 µg,4 週に 1 回,静注。維持 貧血改善効果が得られたら,1 回 25 ~ 250 µg,4 週に 1 回,静注。〔腹膜透析患者・保存期慢性腎臓病患者〕初回 1 回 25 µg,2 週に 1 回,皮下注又は静注。エリスロポエチン製剤からの切替え初回 1 回 100 又は 150 µg,4 週に 1 回,皮下注又は静注。維持 貧血改善効果が得られたら,1 回 25 ~ 250 µg,4 週に 1 回,皮下注又は静注。以上,貧血症状の程度・年齢等により適宜増減。最高量 1 回 250 µg。

禁忌 本剤(成分)・エリスロポエチン製剤・ダルベポエチンアルファ製剤に過敏症の既往歴